# 伊庭氏が常務昇任

## 新取締役に藤井、岡本氏

### MSKで人事　役員

佐野社長

エム・エス・ケー農業機械㈱（佐野裕社長・東京都豊島区西池袋3の27の12）は去る6月23日開催の同社定時株主総会並びにその後の取締役会で新執行体制を選任、それぞれ就任した。それによると、伊庭嘉彦取締役農機本部長が常務取締役に昇任したほか、新取締役に藤井哲郎サービス本部長、岡本忠三物流部長が就任した。また、新執行役員に川村喜代見関東支店長、高坂誠部品部長が就任した。

岡本取締役

藤井取締役

伊庭常務

新執行体制及び新取締役の略歴は次の通り（敬称略）。

（平成18年6月23日付）

【取締役及び監査役】

▽代表取締役社長　佐野裕▽専務　中里瑛▽常務　山内徹郎▽同（農機本部長）伊庭嘉彦（昇任）▽取締役（施設本部長）生方研二▽同（九州支店長）西宮▽同（サービス本部長）藤井哲郎（新任）▽同（物流部長）岡本忠三（同）▽同（非常勤）白木清司（三菱商事）▽同（同）上田良樹（同）▽監査役　向井明紀（同）

なお、高柳順一常務は退任した。

【執行役員（社長はじめ常勤取締役は全員兼務するので略。専任のみ）】

▽執行役員（帯広支店長）杉沢百樹▽同（総務部長）斎藤謙▽同（東北支店長）大久保和正▽同（美幌支店長）山口良賢▽同（関東支店長）川村喜代見▽同（部品部長）高坂誠

〈藤井哲郎氏の略歴〉

昭和23年3月4日生まれ。46年3月北大農学部卒。同4月東急自動車㈱入社（帯広営業所）、48年1月同社分離、エム・エス・ケー東急機械㈱設立に伴い入社、平成5年7月農機部農機チームリーダー、11年1月関東支店副支店長、14年1月中部支店長、15年4月企画開発部長（経営企画部長）、17年6月執行役員、17年9月サービス本部長兼技術部長

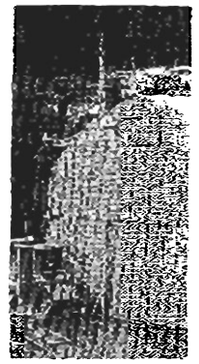
〈岡本忠三氏の略歴〉

昭和24年7月10日生まれ。47年4月三菱商事㈱入社、平成13年4月エム・エス・ケー東急機械㈱出向輸入統括室長、17年8月三菱商事㈱転籍、エム・エス・ケー農業機械㈱入社企画開発部長、17年9月物流部長

---

# ATO　原油価格高騰で注目

## 新ボイラーを推進


シイタケハウスの暖房用に設置されたATO新ボイラー

原油価格の高騰から、薪を燃料に使うボイラーの採用が急増している。

ウッドボイラーの製造販売に30年の実績があるエーテーオー㈱製造管理部（名古屋市北区志賀町5の17）は「昨年から、冬場の問い合わせは3倍以上あるかと思います。例年、暖かくなると問い合わせは週に5、6件に減りますが、今年は毎日2、3件あります」と人気の高さを語る。

同社のATO新ボイラーは薪、端材、農業廃棄物、一般ごみなどを燃やして暖房・給湯・ハウス暖房などに利用できる。

ユーザーは一般家庭が約25%、農業（林業）約30%、建設業など40%、旅館業約5%。二次利用の用途は給湯のみ約70%、給湯・暖房併用約20%、キノコ栽培などハウス暖房が約10%。

オールステンレス製で耐久性、耐腐食性に優れ、熱効率も高い。薪の投入口はワイドで燃焼室は奥行きがあるため、薪を小割りする手間を解消し、丸太のまま投入できる。「火持ちが良く、薪の投入回数も減り、灰も少ない」など使いやすい。

島根県の1邸では、住宅改修にともない在来の薪焚き風呂からATO新ボイラーに切り替えた。洗面と風呂、台所の給湯と16・5畳に床暖房を導入したところ、年間光熱費を27万円から17万円と10万円削減でき新ボイラーとしての優秀性も証明した。「太陽熱温水器とは対照的に、冬場に大きな熱量が必要な時期に使えるので理想的な熱源」と好評だ。

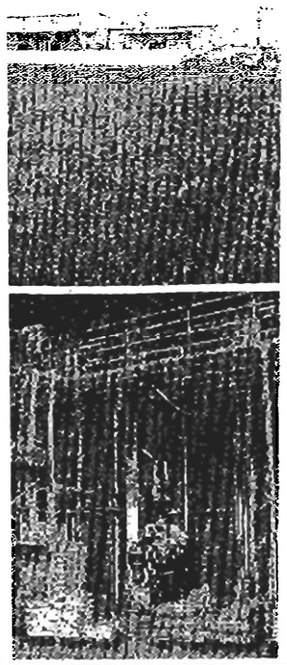
貯湯タンク容量2000㍑、毎時熱源能力2万6000～3万8000㌔㎉のN-200NSBは税込み39万1650円。同機で年間出荷台数の7割を占める。このほか、貯湯タンク容量220㍑、350㍑、500㍑の計4機種が標準品。大型の1000㍑、1950㍑タイプも受注生産する。

問い合わせは同社☎052・915・4311。

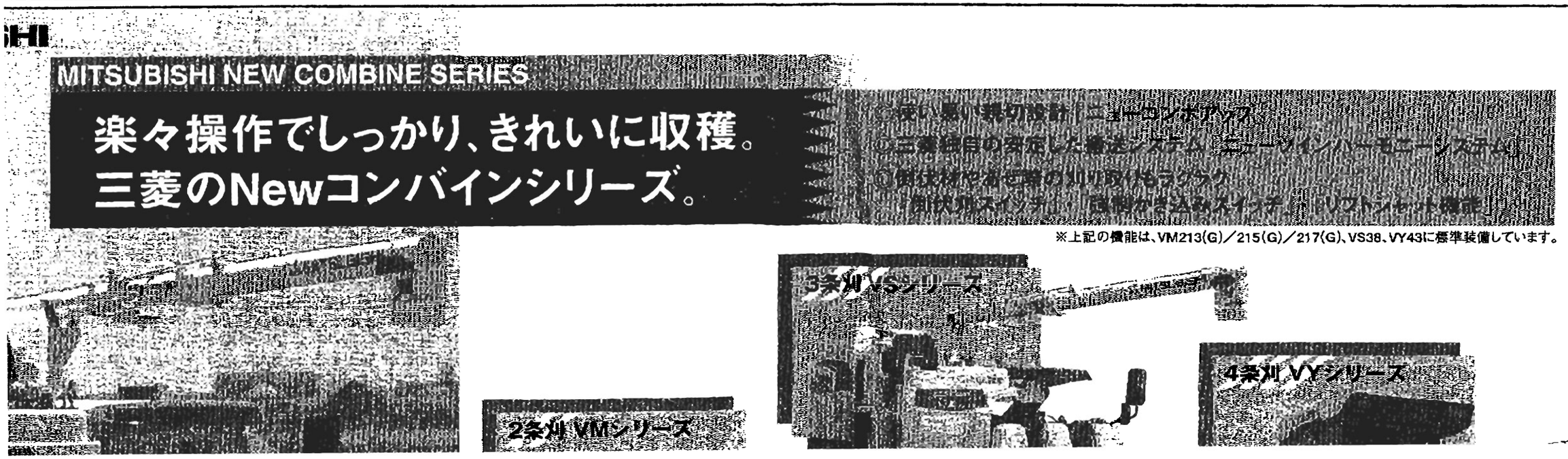
---

# タキロン　樹脂製品を5～10%値上げ

タキロン㈱（森下誠二社長・大阪市中央区安土町2の3の13）は7月3日出荷分より、ポリエチレン樹脂およびポリプロピレン樹脂製の土木資材製品、暗渠排水資材製品、産業資材製品を値上げする。値上げ率は、一般土木用のトリカルネット、耐圧ドレーン、トリカルパイプ（いずれも部品含む）などはメーカー希望設計価格の10%以上。暗



えても十分対応できる余裕がある。さらに今回、登録検査機関の検査場の指定も受けた。

今後の展望としては、「おかげさまで会社を設立してから売上げは毎年増えている。白米の販売は順調なので、今後は量販店との商談、玄米の出荷を増やしていきたい。それから、道の駅近くにイチゴの観光農園をオープンさせる予定だ。白菜、キャベツも東京の築地市場に出荷する量を増やして、五霞町を野菜の一大生産地にしていきたい」と笑顔で語っている。

---